

Technical Data

Model	Master Line Source 3
構成	ダイポール3ウェイシステム アコースティックレンズ搭載
推奨アンプ出力	20-500W
能率	92dB/W/m
インピーダンス	4Ω
再生周波数特性	28Hz-50kHz
ユニット	ラインソース・ドライバー111×4 180mm UHQD* 低域用ウーファー×2 180mm UHQD* パッシブ振動膜×2 *Ultra High Quality Driver
クロスオーバー周波数	400Hz/3kHz
入力端子	PIEGAオリジナルターミナル バイワイヤリング可
サイズ	ボトムプレート含む H1650×W343×D362mm(スパイク時) (本体:H1650×W230×D330mm)
重量	65kg/本
仕上げ	シルバー/パッフル:アルミ シルバーアルマイト加工 筐体:MDFシルバー塗装 ブラック/パッフル:アルミ ブラックアルマイト加工 筐体:MDFハイグロスブラック塗装 ホワイト/パッフル:アルミ ホワイト塗装 筐体:MDFハイグロスホワイト塗装 ゼブラウッド/パッフル:アルミ ブラックアルマイト加工 筐体:MDFゼブラノ突板マット仕上げ
付属品	ボトムプレート、平型脚/スパイク脚(各8個)、ダンピング材一式
本体価格	¥5,000,000/ペア(税別)



シルバー

ブラック

ホワイト

ゼブラウッド

PIEGA
S W I T Z E R L A N D

輸入総代理店フューレンコーディネート Toll Free 0120-004884 www.piega.jp

本カタログに掲載の情報は2018年11月現在のものです。

PIEGA
S W I T Z E R L A N D



MASTER LINE SOURCE 3

SWISS HANDCRAFTED LOUDSPEAKERS SINCE 1986

PIEGA Master Line Source 3

Master Line Source 3(マスターラインソース3)は、PIEGAのトップエンドであるマスターラインシリーズにふさわしい新製品です。MLS2と同様、MLS3はラインソースのダイポール型スピーカーシステムです。MLS3の設計開発は取組み甲斐のあるもので、その結果、いくつかの新しい技術革新が生みだされました。

イノベーションの1つは、非常に複雑で特殊なリボンドライバーをこれまで構築してきた30年のノウハウと経験を象徴するもので、PIEGA Line-Source-Driver(ラインソース・ドライバー)のコンパクト化が実現し、新たに採用されました。ラインソース・ドライバーはダイポール型であり、ダイナミックかつハイスピードな特性を誇り、再生周波数は広帯域をカバーします。あらゆるジャンルの音楽が、真に音楽的で説得力があり、臨場感のあるリスニング体験に貢献しています。

究極の低音再生

MLS3のラインソース・ドライバーの性能水準に完璧にマッチするよう、18cm UHQD低域ドライバーは、新たに設計開発され、完璧なダイナミクス、スピードでしっかりと下支えします。

低域再生における最大の課題は、新しいドライバーを小ぶりなエンクロージャ容積でどこまで活かせるかということでした。そのために、最新の振動膜素材によるエッジ、ボイスコイル、シャーシ、およびすべての可動部品にいたるまで構成素材も吟味し設計しています。ラインソース・ドライバーの極めて正確な、トータルバランスにいささかの不満も感じさせない低域レスポンスを獲得しました。

音楽のためのファインチューニング

MLS3は、通常のスピーカーのようにリビングルームに設置できます。その上でダイポール型ならではの特性として、背面の壁から30cm~2m離れていても、音楽性豊かに再生できるよう設置可能です。

PIEGAの長年にわたるオーディオ体験で得たノウハウと、献身的なスタッフによるリスニングと微調整によって完成されたMLS3は、音色の美しさや上質なデザイン美学の集大成です。MLS3は、存在感のあるスピーカーであり、真に魔法のようなオーディオ体験をリスナーにもたらすでしょう。

ラインソース後方の音響レンズ

4つのラインソース・ドライバーが直接前方へ放射されると同時に、ダイポール特性と調和する後方に放射されるサウンドエネルギーは精巧に設計された音響レンズを経由して完全に拡散音場に変換されます。塗装を施したMDF(中質繊維板)板で構成される音響レンズの回折と反射効果により背面にもサウンドが広大に放射され、MLS 3は従来のダイポール特性のスピーカーではできなかった、後方壁への近接設置が可能です。

ドライバーの高品質で低歪みの音質を徹底的に発揮するため、ハウジング内の振動を確実に消し去るよう細心の注意が払われました。スピーカーのバツフル面はソリッドアルミニウムの塊から切削され、堂々たる安定性とダンピング特性を備えています。10mm厚アルミニウムのバツフル面は本体エンクロージャに接着されています。

本体はMDFと粘弾性の頑丈なフィルムIdikellで構成されたもので、極めてソリッドな剛構造を持つ完璧なエンクロージャです。32ℓのエンクロージャに搭載される2基のPIEGAウーファーは直径180mmサイズのもので、極めて高剛性にコーティングされたアルミニウム振動板と、ロングスロー磁石システムにより28Hzの低域カットオフ周波数と最適なパルス応答を達成します。アンプによって駆動される2基のウーファーに加え背面には同じ振動板のパスシプラーエーターが2基マウントされ、バスレフシステムより効果的に低域レスポンスを補強し、MLS3のトータルパフォーマンスを高めています。

4種類のキャビネット仕上げのPIEGA Master Line Source 3は、プレミアムなハイエンドスピーカー分野におけるスイスのエンジニアリング、クラフツマンシップ、オーディオ技術の縮図そのものとして高い完成度と抜群の音質を誇ります。

